

子供たちの創造力を鍛え、考える力を育てる学び

課題

現代社会は、グローバル化や情報化など、急速かつ激しい変化が進んでいます。これからの時代には、予測不可能な問題に対応できるように、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力が必要です。

しかし、日本の学校教育は、受験戦争や学力低下への対策などにより、知識や技能を単に教え込むことに偏ってしまっています。その結果、子供たちは、自分の興味や関心を追求したり、自分の考えを表現したりすることが苦手になっています。

このように、日本の教育は、自分で創造し、考えることができないという課題を抱えています。

方法案

世界の出来事を写真で想像させ、考える力を育てる取り組みを考えてみました。

①写真はネット、雑誌（主にナショナル ジオグラフィック）から各国の自然、動植物、社会情勢の様相など、多岐にわたる写真を選んで見せます。

②子供に写真について質問します。例えば、「この写真はどこで撮られたと思う？」「この写真に写っている人たちは何をしていると思う？」「この写真から感じることは何？」などです。

③写真に関する話題を広げます。例えば、「この国ではこんな習慣があるんだよ」「この地域ではこんな問題が起きているんだよ」「この写真から伝わってくるメッセージは何だと思う？」などです。

④自分の意見や感想を述べてもらいます。例えば、「この写真は好き？ 嫌い？」「この写真から学んだことは何？」「この写真に関して知りたいことは何？」などです。

⑤子供たちには、意見や感想への反論はしないことを約束させたくので、例えば、「そうだね、私もそう思うよ」「でもね、私はちよつと違うかな」「それは面白い考えだね」「それはどうしてそう思うの？」などと、みんなでディスカッションを楽しみます。



写真：ゴミを漁るゾウ

効果

○子供が写真から情報や感情を読み取り、自分の知識や経験と照らし合わせて想像力を働かせることで、観察力や表現力を高めること。

○子供が写真に関する質問に答えたり、自分の意見や感想を述べたりすることで、論理的思考力やコミュニケーション力を高めること。

○子供が様々な国や地域の文化や歴史、社会問題などに触れることで、多様性への理解や共感力を高めること。

ぶながやっ子ハウスの方針にある『自立』についても、『（省略）できるだけ自分で考えられるように仕向けてやるのが大切です。』
 と言って聞かせたりするのではなく、どう思うか、どうしたいか、どうすればよいか、などを子どもから聞き出してやる（考えさせてやる）
 ことが大切です。』という考え方に生きるものと思います。